

授業の進め方と学習方法

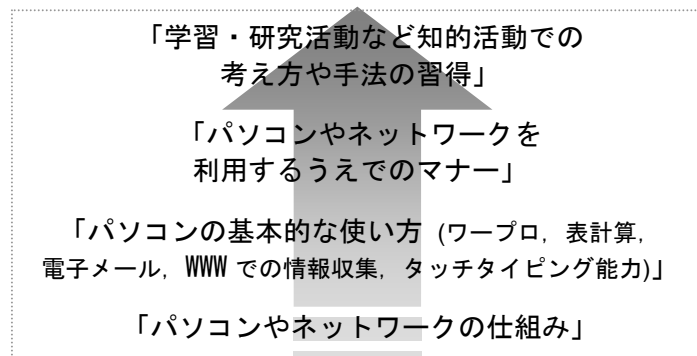
担当：茅根・笹原・高橋・千葉・宮脇

コンピュータ・リテラシーの授業の目的

- 「情報化社会」において、学生として、また社会人として、最低限必要となる情報リテラシーを身につけよう！
- コンピュータなどの情報機器のしくみや、情報技術 (IT, *Information Technology*) の基礎的な概念を理解し、実習を通じてパソコンやネットワークなどを使いこなそう！

コンピュータ・リテラシー履修の心得

- (1) コンピュータ・リテラシーは、パソコンやネットワークを使いこなすための能力をつける準備運動のようなもので、ここで習うことは、これから 4 年間の大学生活、さらには社会に出てからの生活を支える大切な基礎となります (下図を参照)。



コンピュータ・リテラシーが目指すもの

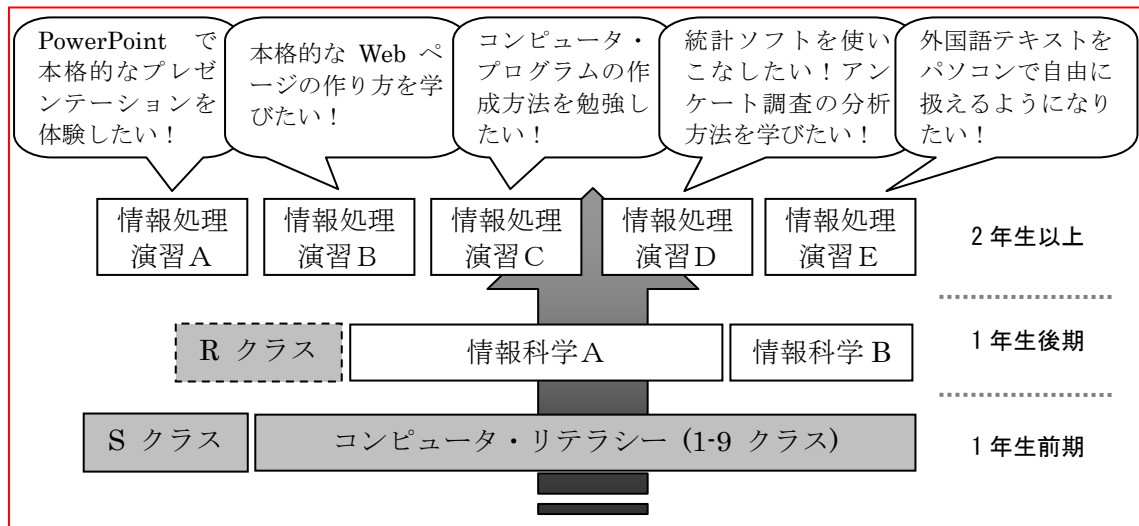
- (2) パソコンは智力・脳力をパワーアップする道具です。しかし、すべてを皆さんの代わりにやってくれるわけではなく、「何をするか」「どうやってするか」を決めるのは、皆さんです。授業で指示された操作をただ行うのではなく、「何のために作業をしているのか」を理解するようつとめましょう。
- (3) 操作は、何度も練習してはじめて身につきます。課題をしっかりとこなし、分からないところは粘り強く復習することが習得の近道です。授業では先輩方が T A (ティーチング・アシスタント) としてお手伝いしてくれますが、自分ひとりでできるまできちんと復習し、授業で学んだ知識を確実に身につけるよう心がけましょう。

情報処理能力を確実に身につけるコツ (まずは 1 つだけ紹介)

コンピュータの操作を記録する専用のノートを 1 冊用意し、「これは重要」と思ったポイント

トはすぐにメモをとりましょう。コンピュータに関する情報はたくさんあり、ほうっておいても次々に増えて、何が重要なかがわからなくなってしまいます。どれが自分にとって大切かは自分にしかわかりません（し、逆に全部覚える必要もありません！）。また、とらないと絶対に忘れます。

外国語学部の情報系科目の流れ

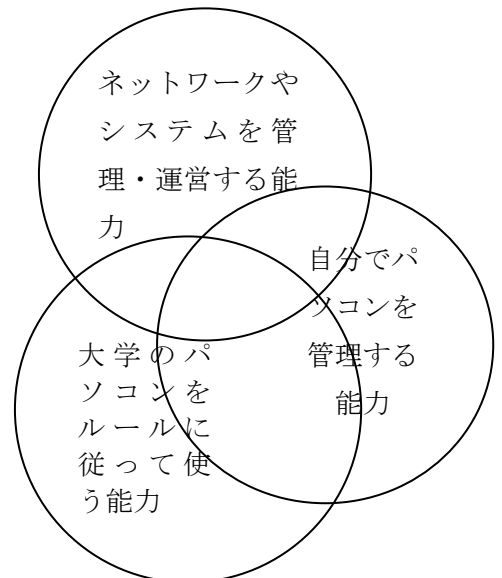


外国語学部情報処理関連科目の流れ

☆ コンピュータ・リテラシーは必修科目です。前期のクラスで単位を取得できなかった人むけに、再履修クラス（R クラス）が後期に開講されます。

よくある質問

- **大学では、パソコンを買うよう強制することはありません。**大学のパソコンやネットワークを使いながら、情報機器を扱うための基礎的な知識（「大学のパソコンをルールに従って使う能力」、右図を参照）を得ることができます。麗澤大学の充実した情報設備を活用してください。
- パソコンを自分で管理し、調整や拡張の経験を積むことで、さらに多くの知識（「自分でパソコンを管理する能力」）を得ることができます（右図を参照）。自分の学習状況を考慮し、購入を検討するのもよいでしょう。
- 大学の情報システムの管理・運営を手助けするTAになることで、さらに「ネットワークやシステムを管理・運営する能力」を身につけたり、情報機器の利用方法を指導する経験を得ることができます（右図を参照）。新しいTAの募集は年度末に情報システムセンターよりアナウンスがあります。関心のある人はTAさんに話を聞いてみましょう！



情報機器の運用能力いろいろ

- 大学のパソコンでは **Windows XP Professional** という基本システム (**Operating System**) が使われています。同じ基本システムを選ぶことをおすすめします。
- 授業で学ぶのと同じ種類のソフトウェアをもっていると便利です。(なお、大学 PC では **Microsoft Office XP [Word 2002, Excel 2002 など]** が使えますが、最新版の **Office 2003 [Word2003, Excel 2003 など]** を購入しても問題ありません。)
- **CD-RW** ドライブがついているパソコンを選ぶと、大学のパソコンと自分のパソコンでデータを簡単にやりとりできます。(大学の「メディア変換端末」という設備を用いることで、その他の種類のディスクやメディアも利用することができます。) なお、大学のパソコンでは **USB** メモリーは利用できません。